

「走れメロス」目標および評価規準

目標	メロスの行動や言動から人間性をとらえ、「真の勇者」として相応しい人物かどうか本文を根拠にして自分の考えをもつことができる。 作品の終わり方の是非をシラーの詩と比較しながら批判的な読みを通して考え、自分の立場と根拠を明確にした意見文を書くことができる。		
評価規準	国語への関心・意欲・態度 登場人物の様子や心情の描写から、作品のおもしろさや作者の思いをとらえようとしている。	読む能力 メロスの人間性を読み取り、行動や言動から真の勇者としてふさわしい人物であるか根拠を明確にして批判的に読むことができる。また、文章の終わり方に関して批評することができる。	言語についての知識・理解・技能 メロスの人間性を表す表現に着目することができる。 最後の場面をキーワードを手掛かりにイメージすることができる。

指導と評価の計画（「走れメロス」4時間扱い）

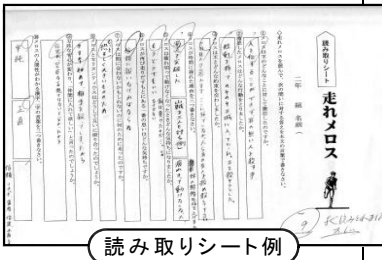
過程	ねらい ○主な学習活動	時間	学習への支援	評価規準				
				国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能		
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>「走れメロス」の作品的背景を知り、内容に興味をもつようにする。</li> <li>「導入シート」で、「走れメロス」の作品的背景について知る。</li> <li>本時のねらいを確認する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>太宰治の書いた作品であることを知り、他の作品も紹介することで読書に興味を向けるようにさせる。</li> <li>シラーの「人質」という詩の最初と最後を紹介し、教科書と比較しながら読むようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「走れメロス」の学習について興味をもち、学習しようとしている。</li> <li>☆自分の知っていることについて積極的に発表しようとしている。</li> <li>◆走れメロスに関する情報を与え、興味をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「走れメロス」の学習について興味をもち、学習しようとしている。</li> <li>☆自分の知っていることについて積極的に発表しようとしている。</li> <li>◆走れメロスに関する情報を与え、興味をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「走れメロス」の学習について興味をもち、学習しようとしている。</li> <li>☆自分の知っていることについて積極的に発表しようとしている。</li> <li>◆走れメロスに関する情報を与え、興味をもたせる。</li> </ul>		
見直し1 読み取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>「走れメロス」の発問に対する読み取りが正確できるようにする。</li> <li>「読み取りシート」で発問を確認する。</li> <li>CDで全文通読する。</li> <li>「評価シート」に記入する。</li> <li>「読み取りシート」で発問を確認し、内容を振り返る。</li> <li>全文黙読しながら、「読み取りシート」に答えを書く。</li> <li>全員で答えを確認する。</li> <li>「評価シート」に記入する。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に発問を一人づつ音読させる。</li> <li>発問の答えに当たると思われる部分に目印を付けながら聞かせる。</li> <li>「評価シート」の【初めの学習について】の評価欄に自己評価で記入させる。</li> <li>前時で付けた目印を確認しながら、発問を確認させる。</li> <li>全文を読みながら、答えに当たる部分を「読み取りシート」に書かせる。</li> <li>発問の答えを発表させる。</li> <li>「評価シート」の【読み取りについて】の評価欄に自己評価で記入させる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>◇範読を聞きながら、おおよその内容をつかむとともに、音読しながら発問に対する答えを書き抜くことができる。</li> <li>☆発問に対する答えを的確に読み取ることができる。</li> <li>◆範読の段階で読み取った文に目印を付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇範読を聞き、読めない漢字を確認し、音読を通して分からない言葉の意味を理解することができる。</li> <li>☆比喩表現に目を向け、何を表現しているのか推測できる。</li> <li>◆音読をしながら、漢字の読みや意味を確認させる。</li> </ul>
見直し2 読解	<ul style="list-style-type: none"> <li>メロスが「真の勇者」と言えるかどうか自分の考えをもてるようにする。</li> <li>本時のねらいを確認する。</li> <li>前時の読み取りを振り返りながら、物語のあらすじを想起する。</li> <li>「読解シート」の自分1の欄に自分の考えを書く。</li> <li>ペアで自分1の意見を交流し合う。</li> <li>「読解シート」の自分2の欄に、意見交流を生かして自分の考えをまとめる。</li> <li>数名が発表する。</li> <li>「評価シート」に記入する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習と関連させながら、勇者と思うかどうか、挙手させながら確認する。</li> <li>勇者と思うかどうかの立場を明確にさせ、そう考える根拠を本文中から探すようにさせる。</li> <li>ペアで発表し合い、発表するときに立場と根拠を必ず述べさせる。</li> <li>相手の立場を理解した上で、交流欄のキーワードを取り入れながら、より確かな根拠をもつて、自分の考えを書かせる。</li> <li>最終的に「勇者である」「勇者でない」の立場に分け、それぞれの立場で代表に発表させる。</li> <li>「評価シート」の【読解について】の評価欄に自己評価で記入させる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>◇前時に読み取ったことを思い出し関係付けながら、自分の考えを根拠を明確にして意見交流し、友達の見解を取り入れてまとめようとしている。</li> <li>☆本文をもとに自分の考えの立場と根拠をしっかりともつことができる。</li> <li>◆「読み取りシート」の発問からメロスの性格を整理し、再確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇メロスの勇者と言える部分と人間的な部分を整理し、それを根拠に自分の考えをまとめることができる。</li> <li>☆本文をもとに自分の考えの立場と根拠をしっかりともつことができる。</li> <li>◆「読み取りシート」の発問からメロスの性格を整理し、再確認させる。</li> </ul>
見直し3 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>「走れメロス」の終わり方がよいかどうか、シラーの詩と比べて自分の意見をまとめられるようにする。</li> <li>前時の学習を振り返る。</li> <li>本時のねらいを確認する。</li> <li>「導入シート」のシラーの詩と本文の最後の七行を比べる。</li> <li>「表現シート」の自分1の欄に自分の意見を書く。</li> <li>グループで意見交流し、「表現シート」の交流欄にメモする。</li> <li>「表現シート」の自分2の欄に友達の意見を取り入れた自分の意見を書く。</li> <li>数名が発表する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>メロスは「真の勇者」かどうかを確認する。</li> <li>シラーの詩と比べて、本文に付け足されている部分を確認し、最後の七行を音読させる。</li> <li>最後の七行が勇者にふさわしい終わり方かどうか判断させ、太宰がなぜ最後の七行を付け足したのかをキーワードを根拠に考えて意見を書かせる。</li> <li>自分の立場・根拠・意見を明確にしてグループ交流させる。</li> <li>意見文の構成は、今まで学習してきた型を利用して書くようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇発問を理解し、シラーの詩と比較して、最後の部分が必要かどうか考えようとしている。</li> <li>☆自分の立場を明確にして、前時の学習と関連させながら必要性を検討しようとしている。</li> <li>◆前時の自分の考えからつなげて考えるようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇最後の七行から、勇者にふさわしい終わり方かどうか批判的な読みができる。</li> <li>☆シラーの詩と比べ、勇者のまま終わる方がよいか本文の方がよいか、根拠を明確に説明できる。</li> <li>◆前時の自分の考えを振り返らせ、勇者かどうか考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇最後の部分のキーワードが何を象徴しているかを理解し、最後の場面をイメージ化できる。</li> <li>☆シラーの詩との違いに目を向け、より人間的な部分が強調されていることに気付く。</li> <li>◆前時に整理した言葉を手掛かりに考えさせる。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>読みから書きへの学習活動のねらいに沿って評価できるようにする。</li> <li>「評価シート」に記入する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「評価シート」の【表現について】の評価欄に自己評価で記入させる。</li> <li>「走れメロス」の学習全体を振り返り、【学習についてのコメント】の欄に自由記述で感想を書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各段階及び今までの自分の取組を振り返り、記述形式で評価しようとしている。</li> <li>☆今までの教材を通して学習を振り返り、読みを根拠に表現する力が身に付いたか評価しようとしている。</li> <li>◆始める以前と比べて、自分で成長できたと思うことを書かせる。</li> </ul>				

◇は、おおむね満足できる状況・態度 ☆は、十分満足できる状況・態度 ◆は、努力を要する状況への方策

【本時案】「走れメロス」(4時間扱い)

第1・2時 (見通し1にかかわる授業)

- (1) ねらい
- ・「走れメロス」の作品的背景を知り、内容に興味をもつようにする。
  - ・「走れメロス」の発問に対する読み取りが正確にできるようにする。
- (2) 準備  
教科書、「走れメロス」学習シート、太宰治作品集、指名カード
- (3) 展開 (4時間中の1・2時間目)

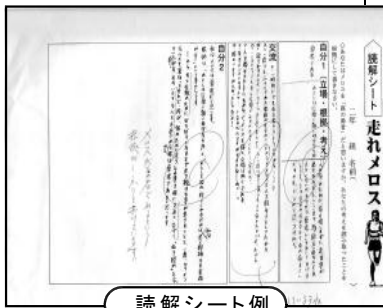
	学習活動	時間	学習への支援 (○) 及び留意点 (※) 十分満足とする状況・態度の生徒への支援 (◇)	評価規準 (評価方法)
導入	<p>【第1時】</p> <p>1 「導入シート」で、「走れメロス」の作品的背景について知る。</p> <p>2 本時のねらいを確認する。</p>	17	<p>○太宰治の書いた作品であることを知り、他の作品も紹介することで読書に興味を向けるようにさせる。</p> <p>○シラーの「人質」という詩の最初と最後を紹介し、教科書と比較しながら読むようにさせる。</p>	<p>【関・意・態】</p> <p>「走れメロス」の学習について興味をもち、学習しようとしている。 (観察：学習に対する取組の様子)</p>
	「走れメロス」の読み取り発問の内容を正確に読み取ろう。			
読み取り	<p>3 「読み取りシート」で発問を確認する。</p> <p>4 CDで全文通読する。</p>	30	<p>○生徒に発問を一人ずつ音読させる。</p> <p>○発問の答えに当たると思われる部分に目印を付けながら聞かせる。</p>	<p>【読む】</p> <p>範読を聞きながら、おおよその内容をつかむとともに、音読しながら発問に対する答えを書き抜くことができる。</p> <p>【言語事項】</p> <p>範読を聞き、読めない漢字を確認し、音読を通して分からない言葉の意味を理解することができる。 (観察：範読の聞き方の様子)</p>
評価	<p>5 「評価シート」に記入する。</p>	3	<p>○「評価シート」の【初めの学習について】の評価欄に自己評価で記入させる。</p>	<p>【関・意・態】</p> <p>本時の学習を振り返り、評価しようとしている。 (分析：「評価シート」の自己評価の様子・記述内容)</p>
読み取り	<p>【第2時】</p> <p>1 「読み取りシート」で発問を確認し、内容を振り返る。</p> <p>2 全文黙読しながら、「読み取りシート」に答えを書く。</p>	30	<p>○前時で付けた目印を確認しながら、発問を確認させる。</p> <p>○全文を読みながら、答えに当たる部分を「読み取りシート」に書かせる。 ◇早くできた生徒は、読み取りの遅い生徒の補助をさせる。</p>	<p>【読む】</p> <p>範読を聞きながら、おおよその内容をつかむとともに、音読しながら発問に対する答えを書き抜くことができる。</p> <p>【言語事項】</p> <p>範読を聞き、読めない漢字を確認し、音読を通して分からない言葉の意味を理解することができる。 (観察：範読の聞き方の様子)</p>
	 <p>読み取りシート例</p> <p>3 全員で答えを確認する。</p>	17	<p>○発問の答えを発表させる。 ※指名カードを使ってランダムに指名する。</p>	
評価	<p>4 「評価シート」に記入する。</p>	3	<p>○「評価シート」の【読み取りについて】の評価欄に自己評価で記入させる。</p>	<p>【関・意・態】</p> <p>本時の学習を振り返り、評価しようとしている。 (分析：「評価シート」の自己評価の様子・記述内容)</p>

【本時案】「走れメロス」(4時間扱い)

第3時 (見通し2にかかわる授業)

- (1) ねらい
  - ・メロスが「真の勇者」と言えるかどうか自分の考えをもてるようにする。
- (2) 準備
  - 教科書、「走れメロス」学習シート
- (3) 展開 (4時間中の3時間目)

	学習活動	時間	学習への支援 (○) 及び留意点 (※) 十分満足とする状況・態度の生徒への支援 (◇)	評価規準 (評価方法)
導 入	1 本時のねらいを確認する。			
	あなたはメロスを「真の勇者」だと思いますか？ 読み取ったことを根拠にしてあなたの考えをまとめなさい。			
読 解 ・ 自 分 1	2 前時の読み取りを振り返りながら、物語のあらすじを想起する。	5	○本時の学習と関連させながら、勇者と思うかどうか、挙手させながら確認する。	<b>【関・意・態】</b> 前時に読み取ったことを思い出し関係付けながら、自分の考えを根拠を明確にして意見交流し、友達の見解を取り入れてまとめようとしている。 <b>【読む】</b> メロスの勇者といえる部分と人間的な部分を整理し、それを根拠に自分の考えをまとめることができる。 <b>【言語事項】</b> メロスを表す言葉で、共感できる表現とできない表現とに整理できる。 (観察：学習に対する取組の様子) (分析：「読解シート」の自分1・2の記述内容)
	3 「読解シート」の自分1の欄に自分の考えを書く。	15	○勇者と思うかどうかの立場を明確にさせ、そう考える根拠を本文中から探すようにさせる。  ※シートの自分1の枠を立場・根拠・考えに分けて書くようにさせる。 ※迷っている生徒に対しては、勇者と思うかどうかを判断するとき、「読み取りシート」の発問を手掛かりに考えさせるように助言する。	
交 流	4 ペアで自分1の意見を交流し合う。	10	○ペアで発表し合い、発表するとき立場と根拠を必ず述べさせる。  ※少数派の意見を大切に、少数派同士がペアにならないようにする。 ※同じ立場で組んだ場合でも、根拠の違いをできるだけ多く探すようにさせる。 ※交流欄にキーワードになる言葉を記入させる。 ◇自分と反対の立場にたって、友達の見解の根拠を本文から探すようにさせ、両面からとらえられるようにさせる。	
	5 「読解シート」の自分2の欄に、意見交流を生かして自分の考えをまとめる。  6 数名が発表する。	17	○相手の立場を理解した上で、交流欄のキーワードを取り入れながら、より確かな根拠をもって、自分の考えを書かせる。 ※文章構成としては、立場、根拠、まとめ(考え)の順で書くようにさせる。  ○最終的に「勇者である」「勇者でない」の立場に分け、それぞれの立場で代表に発表させる。 ※特に根拠となる部分に視点を当て、発表者以外の根拠があれば発表させる。	
評 価	7 「評価シート」に記入する。	3	○「評価シート」の【読解について】の評価欄に自己評価で記入させる。	<b>【関・意・態】</b> 本時の学習を振り返り、評価しようとしている。 (「評価シート」分析：自己評価の様子・記述内容)



読解シート例

【本時案】「走れメロス」(4時間扱い)

第4時 (見通し3にかかわる授業)

(1) ねらい

- ・「走れメロス」の終わり方がよいかどうか、シラーの詩と比べて自分の意見をまとめられるようにする。
- ・読みから書きへの学習活動のねらいに沿って評価できるようにする。

(2) 準備

教科書、「走れメロス」学習シート

(3) 展開 (4時間中の4時間目)

	学習活動	時間	学習への支援 (○) 及び留意点 (※) 十分満足とする状況・態度の生徒への支援 (◇)	評価規準 (評価方法)
導入	1 前時の学習を振り返る。	5	○メロスは「真の勇者」かどうかを確認する。 ※挙手によりどちらの立場であるかを意識させる。	
	2 本時のねらいを確認する。			
あなたは、シラーの「人質」の詩と本文の終わり方を比べてどちらがいい終わり方だと思いますか？				
表現・自分1	3 「導入シート」のシラーの詩と本文の最後の七行を比べる。	10	○シラーの詩と比べて、本文に付け足されている部分を確認し、最後の七行を音読させる。  ○最後の七行が勇者にふさわしい終わり方かどうか判断させ、太宰がなぜ最後の七行を付け足したのかをキーワードを根拠に考えて意見を書かせる。  ※付け足された部分のキーワードを押さえ、最後の場面をイメージ化させる。 「一人の少女」「緋のマント」「ささげる」「まごつく」「裸体」「悔しい」「ひどく赤面」	【関・意・態】 発問を理解し、シラーの詩と比較して、最後の部分が必要かどうか考えようとしている。 【読む】 最後の七行から、勇者にふさわしい終わり方かどうか批判的な読みができる。 【言語事項】 最後の部分のキーワードが何を象徴しているかを理解し、最後の場面をイメージ化できる。 (観察：音読、「表現シート」への書き込みの様子) (分析：「表現シート」の自分1・2の記述内容)
	4 「表現シート」の自分1の欄に自分の意見を書く。			
交流	5 グループで意見交流し、「表現シート」の交流欄にメモする。	10	○自分の立場・根拠・意見を明確にしてグループ交流させる。 ※立場を確認し、違う立場の人間が必ずグループに入るようにする。机間支援をしながら、それぞれの立場の人数を把握し、少ない方の立場の生徒が重ならないようにして、その場でグループ編成する。	
表現・自分2	6 「表現シート」の自分2の欄に友達の見取り入れた自分の意見を書く。	20	○意見文の構成は、今まで学習してきた型を利用して書くようにさせる。 (意見文の例) ※①立場 「本文がよい」 ②本文からの根拠 「友のために全裸であることも忘れて命がけで走りきった勇気と、全裸であることを恥じて赤くなる人間味の両面をもつメロス」 ③自分の知識・体験 「自分の中にも強い自分と弱い自分があるので最後にメロスに共感もてた」 ④意見 「メロスは特別ではなく、普通の人間の中にも勇者になれる素質はあるということはこの作品は教えてくれた」  ◇書き上がった者は、自分から積極的に発表させる。	
	7 数名が発表する。			
評価	8 「評価シート」に記入する。	5	○「評価シート」の【表現について】の評価欄に自己評価で記入させる。  ○「走れメロス」の学習全体を振り返り、【学習についてのコメント】の欄に自由記述で感想を書かせる。	【関・意・態】 今までの学習を振り返り、自分の成長を感じ取るうとしている。 (「評価シート」分析：自己評価の様子、記述内容)

